

オープンアクセスと盛岡大学の取り組み

オープンアクセスは、研究者の発信力を最大化し、学術的インパクトを高めるための重要な戦略です。オープンアクセスのメリットや本学の取り組みについてご案内いたします。

1. オープンアクセス(OA)が研究にもたらすメリット

- 研究インパクトの向上: 論文の可視性が高まり、被引用数の増加が期待できます。
- 新たな連携の創出: 異分野・国際的な共同研究の機会を促進します。
- 社会的責任の遂行: 公的資金による研究成果を社会へ還元し、説明責任を果たします。

2. 【重要】2025年度からの「即時オープンアクセス義務化」について

国の新方針により、2025年度から新たに公募される特定の競争的研究費によって得られた研究成果は、即時オープンアクセスが義務化されることになりました。これは、公的資金による研究成果を最大限社会に還元するという国の方針を反映したものであり、対象となる研究費を受給する先生方にとって、遵守すべき重要なルール変更です。

3. 盛岡大学の取り組み

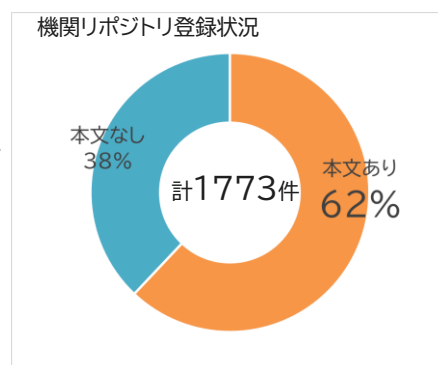
■ オープンアクセスポリシーの制定:

本学は令和7年5月1日に「盛岡大学・盛岡大学短期大学部オープンアクセスポリシー」を制定し、研究成果のOA化を推進する方針を定めました。これは、先生方の研究成果を広く学内外に公開し、学術研究の発展と社会貢献に寄与することを目的としています。

■ 機関リポジトリの現状:

盛岡大学・盛岡大学短期大学部機関リポジトリは、本学の研究成果を収集・保存し、公開しています。オープンアクセスポリシー制定後、多くの教員の皆様から登録いただいております。

現在の登録件数は1,773件。このうち、本文公開論文の割合は62%となっています。



本資料では、オープンアクセスや本学の取り組みを簡単にご紹介しました。機関リポジトリへの登録方法やオープンアクセスについて、詳しくは[図書館ウェブサイト](#)に掲載しています。FAQや用語解説もありますので、ご活用ください。

これを機会にぜひ機関リポジトリへの登録をご検討ください。本学は、先生方の研究成果発信を全力で支援してまいります。ご不明な点は、図書館までお気軽にお問い合わせください。